

令和 6 年度事業報告

1 令和 6 年度全体活動状況

令和 6 年度は、本法人が設立されて 20 年周年を迎えたことから「育んだ 20 年これからの挑戦」をテーマに、開館記念の 11 月 11 日を中心とした日程で記念式典並びに記念事業を行いました。記念事業では、各班のこれまでの活動を様々な形で紹介し、来場者の皆さんとともに 20 周年をお祝いしました。記念式典は多くのご来賓のご臨席をいただき挙行することができ、法人の設立時から活動に尽力いただいた 34 名の会員を表彰し、これまでの活動に感謝の意を表することができました。

また、令和 6 年度は役員任期の満了により 4 月に役員候補者の選挙を行い総会において新たな役員を決定し 6 月から新役員体制がスタートしました。

令和 6 年度の萩博物館については、開館 20 周年記念の特別展及び企画展が開催され、入館者数は 68,284 人で令和 5 年度に比べ 40% の増加となりました。

令和 6 年度の本法人の運営状況ですが、主要事業である萩博物館の管理運営事業は会員各位の尽力により順調な事業運営を行うことができました。一方、自主運営するレストラン、ショップ部門においては、企画展、特別展に合わせたショップ商品の充実や新規メニューの開発など売上増大を目指す取組みなどの経営改善の努力を行ってきました。博物館入館者の増加や経営努力により売上額は前年に比べ増加しています。

次に、市から管理運営を受託し、萩まちじゅう博物館のサテライト施設として機能している松陰記念館ついてですが、萩市内への観光客数の増加に伴い入館者数は 85,555 人で、前年比 7.8% の増となりました。これにともない令和元年度から取り組んでいる書籍等の商品販売も順調に伸長しています。当該施設の管理業務委託契約が最終年度となることから公募型プロポーザルに参加し、令和 7 年度以降も引き続き管理業務を行うこととなりました。

また、市の宿泊型研修施設として管理委託を受けている萩セミナーハウスは宿泊者数、利用者・団体数も順調に推移し、安定的な経営状況となっています。管理委託については、令和 6 年度が最終年度に当たることから指定管理者の募集に応募し、令和 7 年度からの指定管理者に選定されました。

萩博物館、松陰記念館、萩セミナーハウスの管理運営を担っている各班では、常に「笑顔でおもてなしの心」での対応を心がけ接客対応技術の研鑽、向上にも努めてきました。

一方、無償班の活動では、各班それぞれの活動計画に基づき事業を行ってきました。各班の活動の成果は、年間を通じてエントランスホール等で発表するとともに 11 月の 20 周年記念事業では、多くの来場者を迎え各班それぞれに工夫をこらし積極的な活動発表を行うことができました。また、5 月には「こども広場」を開催したほか、浜崎伝建おたから博物館等市内の各種イベントにも積極的に参加し、高い評価を得たところです。各班の自主研修もそれぞれ実施され、班活動の推進と充実が図られてきました。また、法人の全体研修も 5 年ぶりに実施することができました。

平成 25 年度から市内各地で展開してきました文化遺産活用事業ですが、これまで市内 26 地域で多くの「おたから」を登録してきましたが、その蓄積を見守りや活用につなげるため、令和 6 年度は地域の文化遺産に関わる人材の育成と普及啓発のための取組みを行いました。また、この事業の成果ともいえるべき古地図でまち歩き事業では、「チーム歩隅見」が利用者拡大を図るため、「古地図でまち歩き」の子ども版として、はぎびんごを活用した「やさしいコー

ス」を企画し様々な媒体で紹介され、利用者からは高い評価を得ています。

また、令和6年度から開催された萩まちじゅう博覧会については、萩まちじゅう博物館推進の新しい取り組みとして参画しました。

以上、令和6年度の全体事業の報告としますが、本法人は引き続き萩市の基本ビジョンを支える3つの構想の一つである「萩まちじゅう博物館構想」のもと、萩市のまちづくりについて行政や市民と協働した活動を展開していくこととします。

最近5年の萩博物館入館者の推移

* 萩博物館入館者数

(R 2・4・1～R 3・3・31)	32,646人
(R 3・4・1～R 4・3・31)	42,154人
(R 4・4・1～R 5・3・31)	39,581人
(R 5・4・1～R 6・3・31)	48,751人
(R 6・4・1～R 7・3・31)	68,284人

参考

萩市の観光客数（萩市観光課調べ）

萩地域のみ	(R 2. 1. 1～R 2. 12. 31)	2,275,905人
萩市全域		3,199,061人
萩地域のみ	(R 3. 1. 1～R 3. 12. 31)	2,224,381人
萩市全域		3,178,124人
萩地域のみ	(R 4. 1. 1～R 4. 12. 31)	2,579,592人
萩市全域		3,614,421人
萩地域のみ	(R 5. 1. 1～R 5. 12. 31)	2,810,670人
萩市全域		3,828,146人
萩地域のみ	(R 6. 1. 1～R 6. 12. 31)	2,805,221人
萩市全域		3,892,992人

2 令和6年度の各班の活動報告

(1) ボランティア活動事業部門

萩まちじゅう博物館構想を念頭に、調査・収録・データベース化・標本作成等を進め、これらを用いて、イベントへの参加・ワークショップ等各班独自の自主活動を展開し、市民との交流を図るとともに、班研修などにより自己研鑽に努めました。

① まち博おたから情報班

◎ 活動内容

○ 定例活動：毎月2回 第1、第3月曜日

・ ミーティング

活動日、調査日の調整を行った。

調査報告内容の検討をした。

・ 現地調査

「お寺が面白い」でお寺の訪問調査

・ 資料整理

安養寺等の資料整理、

- ・公開中のWEBサイトの確認、修正及び追加

過去の資料の整理

○班の活動紹介

- ・越ヶ浜敬老会で活動発表
- ・エントランスホールでまちなみの変化の様子を紹介する写真を展示

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 パネル展示

○研修 3月 津和野町（郷土館）

②外国語班

◎活動内容

○定例活動：毎月1回 第3木曜日

- ・ミーティング

年間活動計画報告について

- ・外国語班研修会（基礎英会話練習、音読）
- ・企画展の英文リーフレット作成・説明
- ・英会話セミナーの実施

萩博物館国際化の一層の発展を目指し、外国からの来萩、来館者に即座に対応できる有用な実用英語表現を掲載した資料を作成し、英語の語学力、発話能力が身につくよう配慮し、英語に対する興味、関心を高める研修を実施した。

研修には皆さん熱心に取り組み好評を博した。

- ・外国語班資料等の整理

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 飛出す絵本、トランプゲームなど

③民話語り部班

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング・研修会 偶数月1回 第1火曜日
- ・博物館での定例上演：毎週土曜日 総観覧者数 403人参加

○イベント参加

- ・大井ふるさとまつり 民話と紙芝居の上演、観覧者数約50人
- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 民話と紙芝居の上演

④研修班

◎活動内容

班員が調査・研究事例を発表した。

○定例活動：毎月1回 第2金曜日

- ・ミーティング

年間計画について話しあった。

- ・会員が研究・調査した内容を月別に発表

5月 「阿川毛利・毛利親彦と中津江の里」（繫澤征夫）

6月 「萩藩三の丸の人々のルーツ」（飯田正進）

10月 「松陰の墓を建てた門人17名のその後の生きざま」（山根和人）

12月 「ベンチャー起業家藤田傳三郎」（横山郁夫）

1月 「長州に残った北条氏」(林康年)

2月 「馬屋原家について」(馬屋原務本)

延べ参加人員 班員83人 一般18人

今後は出席者を増やす方策が必要

現地研修 9月 高森参勤交代を現地研修(花岡八幡宮、寺嶋忠三郎誕生地、呼坂本陣、宇野千代記念碑、吉田松陰逗留の宿、高森本陣、通化寺)

花岡八幡宮では現地ガイド、通化寺では地元郷土史家、住職に話を聞くことができた。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 クイズとツバキ間伐材利用のプレゼント

⑤花と緑の推進班

◎活動内容

○定例活動:毎月2回 第2、4火曜日(月1回もあり)

- ・ミーティング 4回

- ・土作り

花の植栽に大切な作業で、咲き終わった花の土を、苦土石灰を入れて再生させ、腐葉土、赤玉、鹿沼土他を混ぜあわせる。

- ・育苗

前年度に咲いた大菊、小菊の新枝を5月に挿木し、支柱立て、針金つけ、芽かき輪台つけ、肥料・水やり等作業を経て、秋には大輪の菊3本仕立てや小菊を長屋門の入口に展示した。

- ・植栽

6月 日日草

11月 パンジー、ノースポール

12月 葉ボタン

各自交代で水やりと花の管理をした。

- ・東門横の花壇の整備

季節の花を植えた

- ・フジバカマの植栽

- ・日中友好のアサガオの植栽

○育てた花の配置

博物館をはじめ、松陰記念館、セミナーハウス

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 樹木医草野氏の植物観察会、花の種プレゼント

○研修 10月 長門市油谷(向徳寺、楊貴妃の墓、妙見山公園、千畳敷)

⑥自然おたから班

◎活動内容

萩近海の海岸で貝殻を拾い集め、萩の海の魅力を未来に引き継ぐための調査・研究に取り組む萩博物館の海洋生物部門に、タカラガイなどの「指標種(熱帯性貝類)」を提供。「ザ・シェリングバー」で標本用具、ワークショップ用具を除く余品を入館者にプレゼントした。

○定例活動

- ・ミーティング：月曜日 年間10日活動
- ・室内作業：月曜日 年間25日活動
- ・萩近海を巡回し貝殻採集：月曜日 年間6日活動
大井1回、三見1回、仙崎3回、栗良ヶ浜1回
- ・熱帯性貝類調査 2回
益田1回、油谷1回
- イベント参加
 - ・こども広場 ワークショップ
 - ・浜崎伝建おたから博物館 ワークショップ参加
 - ・夏期特別展 ワークショップの協力（3回）
 - ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 ワークショップ
- 研修 12月 下関市（土井ヶ浜ミュージアム、貝採集）

（2）管理運営活動事業部門

自主事業の展開や事業受託している、萩まちじゅう博物館の中核施設である博物館及びそのサテライト施設として機能している松陰記念館の管理・運営が適切に行えるよう万全の体制で取り組むとともに、利用者及び入館者に対しておもてなしを班活動の中心に位置づけ内容の充実に努めました。

①受付班（博物館）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング、ローテーションの調整及び業務連絡等の周知 月1回
- 接客、金銭授受の責任ある対応
 - ・夏期・秋期特別展の特別料金制の導入への対応
 - ・夏期特別展・竹灯路物語期間中の延長会館への対応
 - ・11月のキャッシュレスレジ導入への対応

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業

○研修 6月 下関市（下関美術館、長府庭園）

②ガイド班（博物館）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング 毎月1回 第3金曜日
年間12回開催、問題点を提示し調整

○特別展・企画展等の展示説明会への参加 5回

・展示説明研修

企画展・特別展が始まる場合は、学芸員の説明があるため、ミーティングの日に説明会が行われる。

「海の妖怪展」 7月20日（土）～9月23日（日）

「シン・萩の世界遺産」 3月15日（土）～

明治日本の産業革命として8件11都市23遺跡が世界遺産になったのを記念して企画展が行われた。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業

「親子で探す萩の歴史」としてクイズを7問出して、180人の方に楽しんで

もらい、缶バッジをプレゼントした。また、萩に伝わる民話3話を披露した。

記念式典では、ガイド班から5名が表彰された。

○研修 6月 防府市（富海の史跡）

③守衛・清掃班（博物館）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング・シフト会議 毎月1回 第3火曜日

守衛・清掃業務の連絡調整事項等の確認を行った。

- ・守衛

職員通用口の利用者の確認、荷物の正確な受け渡しをした。

職員通用口の開閉や館内外の見回りをした。

- ・清掃

来館者の方々が入館から退館まで快適に過ごせる環境づくりを心掛けた。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 パネル展示、ごみ分別クイズ

○研修 6月 小野田市

④ショップ班（自主事業）

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング 毎月1回

ローテーション等の調整をした。

○商品の品揃え等

- ・商品審査会の開催

各展示にあわせ商品を検索し、年間90品目を審査会にかけた。

- ・棚卸

四半期毎に4回実施した。500品目以上のコンピューター上の在庫と実在庫を照合した。

- ・特別展・企画展ごとの商品の取揃えと模様替えを行った。

学芸員等の話を参考に、お客様のニーズに合わせた商品を取り揃えられるよう心掛けた。

※夏期特別展では、入館者も売り上げも昨年に比べ大幅に伸びたが、昨年より開催期間が6日間少なかったことと3連休に開催していなかったことで売上を逃した。お盆の大混雑は、久しぶりで延長会館もありかなりハードだったが、高売上となった。萩博物館が製作したオリジナルTシャツ・マグカップは好評ですぐに完売した。

○販売促進イベントの実施

- ・着物ウィーク案内所の設置
- ・日本旅行キャンペーンへの参加
- ・年始のキャンペーン実施

○新たなキャッシュレス端末の導入

- ・今年度は1,800件、380万円の利用があった。

○ショーウィンドウの改修

- ・LEDライト化

○笑顔での接遇

- ・ 1 に笑顔、2 に笑顔をもっとに接客対応を心掛けた。

○イベント参加

- ・ NPO 萩まちじゅう博物館設立 20 周年記念事業

1,000 円以上お買い上げの方に景品プレゼント。鐘を鳴らして盛り上げた。

○研修 6 月 萩市内（萩ガラス、キモノスタイルカフェ）

⑤レストラン班（自主事業）

◎活動内容

レストランがより親しみをもって利用いただけるよう愛称を募集し、全国から 390 件の応募がありました。審査会を設置し愛称決定することとしています。

○定例活動

- ・ ミーティング 毎月 1 回 第 4 火曜日
ローテーション等の調整

○衛生 衛生面に特に注意をはらった。

○新規メニューの開発

- ・ 季節に合わせたメニューの開発（いちごぱふえ、シラス丼、シマフグ唐揚げ定食、自然薯丼、桜餅ドリンクセット）

○棚卸

- ・ 食器・備品の棚卸の実施

○イベント参加

- ・ 「シマフグランチで乾杯！」キャンペーンに参加
- ・ NPO 萩まちじゅう博物館設立 20 周年記念事業 ソフトクリーム割引

○研修 6 月 萩市内（飲食店で小鉢の研修）

⑥松陰記念館班（主管：商工振興課）

◎活動内容

○定例活動

- ・ ミーティング 毎月 1 回 19 日（19 日が土日となる場合は翌月曜日）
当月の反省、確認事項、提案事項の審議及び次月のローテーションの作成

○ショップ関係

- ・ 棚卸 6 月、9 月、12 月、3 月
大きな誤差はなく、的確に管理されていた。
- ・ 入館者の増加に伴い売上高も順調に推移した。
- ・ 記念館オリジナル商品も作成し好評だった。

○花と緑の推進班の協力による花の鉢配置

花と緑の推進班の協力により春夏秋冬の花の盆栽を提供してもらい飾った。

○イベント参加

- ・ NPO 萩まちじゅう博物館設立 20 周年記念事業 パネル展示

○研修 11 月 周防大島（宮本常一記念館）

（3）学芸サポート活動事業部門

学芸員の指導のもとで、萩まちじゅう博物館構想に基づく班活動を推進するため、各種資料収集・発見、整理分類、出前展示及び情報公開等に努めました。

①歴史班

◎活動状況

○定例活動：毎月 1 回 第 4 金曜日

- ・ ミーティング

- ・襖の下張剥がし
- ・古書籍等の整理と目録の作成
- ・市内の旧家等から古い襖、屏風等の譲り受け

※班員 11 名で定例の活動日に実施した。

※実活動日 4 日

夏期特別展開催中は、バックヤードが使用不可となったので、11 日の作業計画を 4 日のみの活動となった。

○イベント参加

- ・こども広場では古書籍（明治～昭和）をジャンル別に分け、展示閲覧
- ・浜崎伝建おたから博物館 襖の下張り剥がし実体験

※当時の文書が残っている経緯、一時資料としての希少性などを説明した。79 名

- ・NPO 萩まちじゅう博物館設立 20 周年記念事業 古書籍の閲覧

○研修 11 月 山口市（吉敷毛利 大内遺構 袖時橋 周布公園等）

②天文班

◎活動内容

○観望会の開催状況

毎週金曜日に萩博物館が開催する昼間の太陽観望及び夜間の季節の星空観望会に対し、望遠鏡の取扱いや暗い中での観望活動など、常に危険防止に配慮しながら天文指導員の手伝いを行った。

- ・昼間の太陽観望

日時 毎週金曜日 13 時 30 分～16 時 30 分

参加者 867 人

内容 10cm 望遠鏡、7cm 太陽望遠鏡による太陽観望。曇天、雨天で太陽が見えないときは施設の説明ややさしい天文の話をした。

※近年、黒点の数が増え、大きくなって、皆さんに喜んで見てもらえるようになった。

曇天など太陽が見えないときは施設を見てもらうが、スライド式の屋根や望遠鏡の内部など、興味深く見てもらえるのが救いである。

- ・夜間の星空観望（星の会）

日時 毎週金曜日 19 時 30 分～21 時

参加者 384 人 昼間との合計数 1,251 人

内容 既設望遠鏡、増設望遠鏡や大型双眼鏡による星空観望

曇天、雨天で星が見えないときは天文の話やパソコンによるプラネタリウムの投影、クイズなども行った。

※参加者は季節的には夏季が多いが、子供も含め皆さんが熱心に観望されるとともに、自ら図鑑や教材も参考に勉強される人が増えたのが印象に残る。

○星の会特別編（萩市の広報誌で開催を周知したものなど）の開催状況

これは、観望会を一定のテーマのもとに実施することで、萩博物館から萩市の広報紙にも働きかけ、広く周知されることにより多くの皆さんが参加されている。

- ・春の星座と上弦の月を見よう

日 時 令和 6 年 5 月 17 日（金）19 時 30 分～21 時 00 分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 10 名

※内容・感想

うすい雲があったが「春の星空」の大半を見ることができた。多くの方が熱心に観望され、質問も多く出た。

・夏の星空と夏の大三角、土星を見よう

日 時 令和6年8月9日（金）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 70名

※内容・感想

最初雲が多く、月ぐらいしか見えなかったが、後に晴れて全体が観望可能となった。子供さんが夏の大三角を知りたいがり、話していると大人も一緒に聞く、見るなどとマナーもよかった。また来たいという声は何よりの励みになった

・秋の星空とアンドロメダ銀河・土星を見よう

日 時 令和6年10月11日（金）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 100名

※内容・感想

竹灯炉物語のイベントもあり館も延長開館を実施し、多くの方が入場されたので、正確な人数把握はできなかった。季節の望遠鏡のほか増設して利用。皆さん興味深げに使ってみられていた。「自分が望遠鏡を使ってみた」ことは後々記憶に残るのではないだろうか。

・冬の星空とオリオン座大星雲を見よう

日 時 令和6年12月6日（土）19時30分～21時00分

場 所 博物館 天体観望室

参加者 40名

※内容・感想

江向の子供会も来られた。天気は不十分だったが、雲の切れ間からの木星、冬の大三角、すばるを見てもらった。子供たちも木星に大喜びしながらもおとなしく熱心に見ているのには好感が持てた。

・田床山でカノープスを見よう

日 時 令和7年2月28日（金）19時00分～21時30分

場 所 博物館 天体観望室から田床山

参加者 10人

※内容・感想

快晴で最高の条件。カノープスや冬の各星座が見られた。おおいぬ座は犬の顔がはっきりわかり、また寒気もなく最高の条件だった。

○イベント参加

- ・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 写真展示、クイズで絵葉書プレゼント

③あい班

◎活動内容

○定例活動

- ・ミーティング及び作業 毎月2回 第2、4木曜日

学芸員の指導のもと年間活動等の調整及びその都度の作業の調整をした。

- ・タデアイの種苗・育苗

タデアイ畑作り及び管理、収穫（肥料入れ、畝作り、種まき・水やり・草取り・収

穫)と種の保存作業をした。

・染色

乾燥葉染めでショップ販売用作品を作った。(ハンカチ、バンダナ染・仕上げ)

・資料整理・虫干し

春(虫干しシールの入れ替え)秋に衣類資料の整理と虫干を実施した。

○販売用ハンカチ・バンダナの製作販売

・萩博物館ショップでの作品販売

○川上小学校とのコラボ活動

・タデアイの種の提供

・児童への生葉のたたき染の指導

○イベント参加

・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 藍染・柿渋染作品展示

○企画展ワークショップの補助

・裂き織・柿の渋染め

○研修 5月 防府市(アスピラート)

④古写真班

◎活動内容

○定例活動: 毎月2回第1、第3火曜日

・ミーティング

○出前展示

・平安古鍵曲がり交流館展示 4月25日~6月4日

・「結」展示 7月2日~9月3日

○イベント参加

・浜崎伝建おたから博物館 古写真展示 5月19日

・結まつり 10月1日~11月19日

・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 古写真の展示

○研修 6月 下関市

⑤レコード班

◎活動内容

○定例活動: 毎月2回 第1、3金曜日

・ミーティング

今期の年間予定を作成した。

・レコード整理(台帳記入、パソコン入力、シングル洋盤のシール貼り、番号付)

・旧福川小学校舎に保管のレコードの確認

・エントランスでのパネル展示(4月6日~21日)

○イベント参加

・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 レコードコンサート、レコード展示

○研修 10月 長門市(大津あきら関連の地)

⑥民具班

◎活動内容

猛暑、寒波、大雪等天候不順により活動日を中止することが多かった。メンバーの高齢化もすすんでいる。

○定例活動: 毎月2回 第1、3木曜日

・ミーティング

・通常活動

(1)長屋門昭和の展示品のチェック並びに集積、補修を行う。

(2)川上総合事務所、旧久保田家等の館外展示品の保守点検。

(3)市民党から寄贈された民俗資料のクリーニング、データ作成・入力。大工、鍛冶屋等の金属の錆落としが多かった

○イベント参加

・こども広場

・浜崎伝建おたから博物館

・NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業 玩具で遊ぶ

○研修 11月 周防大島町（宮本常一記念館）

⑦チーム歩隅見

◎活動内容

萩市内各地の隠れた魅力の再発見ツアーを実施することにより、萩を訪れる観光客の皆さんへおもてなしを実践した。

○定例活動：毎月1回 第4金曜日

・ミーティング 連絡、調整事項の確認

・現地研修 新たなコース設定の現地研修

○再発見ツアーガイド

・古地図を片手に、ぶらり萩あるき 参加者

萩城三の丸コース（A・B） 100人

萩城本丸、二の丸コース 47人

御成道・札場コース 7人

豪商熊谷家コース 2人

本丸、二の丸、三の丸コース 52人

寺町コース 6人

はぎびんご堀内・城下町コース 39人

・秋の萩まちじゅう博覧会に参画し、新たなコースとして「藍と水にまつわる萩城下の裏道さんぽ」を実施した。参加者は7名であった。

※ 山口県観光連盟主催の「古地図を片手に、まちをあるこう」キャンペーンが9月～3月まで開催され、そのスタンプラリーを集めて参加されるお客様もいた。また「やさしいコース」の広報の一環で、山口県の広報誌「ふれあい山口」の表紙で取り上げられ、県の広報番組で紹介された。

今後も文化遺産活用事業と連携し、まち歩きのコースも増やし、萩まちじゅう博物館観光のツールの一つとしてこの事業を発展させていきたいと考えている。

○イベント参加

NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念として、また萩まちじゅう博覧会への参加イベント、萩着物ウィーク協賛事業として実施した「萩・着物コレクション」では、運営サポートをチーム歩隅見として行なった。

（4）指定管理者事業部門

①萩セミナーハウス

◎事業実施の成果

利用団体の利用目的達成のためのサポート・指導を行った。ホスピタリティーを充実させるとともに、質の高い研修メニューを提供するための改善と研鑽を行った。各種マニュアルやスタッフの手引きを見直し活用した。

研修受入人数は、夏季を中心に宿泊研修の利用者数が格段に増えてきている。

・研修受入人数（主催事業含む。）	合 計	延べ	11,707人
	うち宿泊研修	延べ	2,153人

・主催事業の企画実施（8企画実施 延べ日数31日 延べ参加者470人）

・放課後子ども教室実施（年12回 延べ参加者 188人）

・施設管理（建築物・設備機器等の保守管理）

定期点検、設備点検、病害虫駆除殺菌消毒、施設機械警備を実施した。また、12月中・下旬の利用者のいない日を利用して全館ワックスがけを実施、軽微な補修も行った。

・清掃業務（環境衛生・外溝清掃及び植栽管理・除草・草刈りなど）

快適な環境の維持、美化に努めた。特に通路の落ち葉や松葉等の清掃、外溝の除草清掃は日常的に行った。

・食事提供

現在、厨房に豊富な経験を持つ男性スタッフが確保できており、食事がおいしいと利用者から好評である。特別食（アレルギー対応食）はもちろんのこと、各団体に応じて臨機応変に、栄養バランスやボリュームなどを考慮した食事を提供することができた。

（５）まち博推進ネットワーク事業部門

①ネットワーク推進事業

○文化遺産活用事業（まちじゅう博物館推進課・事務局 NPO 萩まちじゅう博物館）
・令和6年5月 文化遺産活用事業実行委員会

○事業内容

【事業1】地域の文化遺産人材育成事業

地域のおたから情報など、これまでの蓄積を継承し活用するための次の展開として、以下の人材育成に取り組んだ。

- ・地域の文化遺産に関わる人材の育成について、地域住民や地域外の市民と共におたからの見守りを継続的に行うため、おたから見守りツアーを実施した。（R7.3/7 13名参加）
- ・地域のおたからを活用した体験プログラム等を実施する団体や事業者、個人が集まる「まちはくミーティング」を継続的に実施し、おたからを活用する人材の横のつながりづくり・チームビルディングを進めた。（6/26、7/24、8/28、10/2、R7.2/26、3/26）
- ・萩のまちや萩のおたからの探し方を身に着け、さらにそれを他者に共有するアウトプット方法を学ぶ機会として「はぎびんごクリエイターワークショップ」を実施した。参加者を「はぎびんごクリエイター」として認定した。（7/31 21名参加、12/19 10名参加）
- ・令和5年度に作成した浜崎はぎびんごを活用し、回遊プログラムを実施した。（12月～ R7.3）

【事業2】地域の文化遺産普及啓発事業

これまでに蓄積した、地域のおたからの活用と普及啓発を目的として、以下の事業

を行った。

- ・地域の文化遺産の活用と普及啓発を目的として、先進地の講師の話を聞いて意見を交わすシンポジウムとして「萩まちじゅう博物館 萩のこれからトークイベント」を実施（R7.1/12）
- ・市民への普及啓発を目的として、萩まちじゅう博物館の取り組みや各地域のおたからを紹介するパネルやおたからマップを展示するパネル展を開催（R7.2/7～3/7）
- ・民間施設におけるおたから情報スポットの設置（12月～継続設置）
- ・普及啓発のツールの管理として下記の取り組みを行った
- ・萩のおたからデータベース、ウェブサイトの公開継続、データメンテナンス
- ・おたからマップ配布の継続・配布場所の追加 萩市役所受付、萩博物館、萩・明倫学舎、萩市観光案内所、ほか市内各所
- ・おたからマップの増刷：大井地区、堀内・平安古地区、旧松本村地区（各 5000 部）

○各総合事務所との連絡調整

- ・各総合事務所及び公民館との随時連絡がとれる状態の確保

○地域ボランティア活動等の協議会との連携充実

②萩まちじゅう博覧会事業

萩まちじゅう博覧会実行委員会の一員として、まちじゅう博物館推進課の職員や委託事業者と共に、参加プログラムの取りまとめやパンフレット・ポスター等の作成、HP、SNSの整備・運用などの進行管理を行うなど、まちじゅう博物館推進員が事務局運営を担った。

3 会議の開催

- (1) 通常総会 : 令和6年5月30日(木) 萩博物館 講座室
- (2) 理事会 : 13回開催(毎月1回、臨時1回)
- (3) 班長会議 : 3回開催(6月、11月、3月)
- (4) 三者会議 : 12回開催(毎月1回)
- (5) 商品審査委員会及びメニュー検討委員会 随時
- (6) 新入会員説明会 1月
- (7) 設立20周年記念事業実行委員会の開催 4回(4月、6月、9月、10月)
- (8) 役員候補者選挙管理委員会の開催 2回(4月、5月)

4 全体事業

- (1) NPO萩まちじゅう博物館設立20周年記念事業
 - ・記念式典 11月11日
 - ・記念講演等 報告 萩博物館総括学芸員 道迫真吾氏
講演 北海道大学観光学高等研究センター教授 西山徳明氏
 - ・NPO活動発表等
 - 記念イベント 11月9日～10日 10月27日
 - 記念展示 11月9日～17日
- (2) こども広場 5月5日
- (3) イベントへの参加・協力
 - 萩城下の古き雛たち 流し雛
 - 写真展×萩人形展
 - 浜崎伝建おたから博物館

着物ウィーク in 萩

萩・竹灯路物語

たまちハロウィン・結まつり

(4) 博物館一斉清掃 年2回

6月 博物館敷地内の夏みかん畑の草取り

12月 萩博物館内班活動使用箇所清掃

(5) 門松づくり 12月 萩博物館玄関に設置

(6) 年末懇親会 12月

(7) 全体研修 3月 2回に分けて実施 大竹市・広島市(下瀬美術館、平和公園、縮景園)

(8) 事務局からのお知らせ(会報紙)の発行 毎月10日

5 会員募集と年度別会員推移

市報、会報紙、ホームページ等により募集しました。特に有償班に従事する会員については、慢性的に会員の確保が困難なところもあり勧誘活動のより一層の拡充が必要となっています。

* 会員の推移

平成27年3月31日現在	会員数計	191名	
	賛助会員	12社	14口
平成28年3月31日現在	正会員数	200名	
	賛助会員	15社	17口
平成29年3月31日現在	正会員数	202名	
	賛助会員	12社	14口
平成30年3月31日現在	正会員数	205名	
	賛助会員	11社	13口
平成31年3月31日現在	正会員数	198名	
	賛助会員	12社	14口
令和2年3月31日現在	正会員数	194名	
	賛助会員	10社	12口
令和3年3月31日現在	正会員数	191名	
	賛助会員	8社	10口
令和4年3月31日現在	正会員数	191名	
	賛助会員	8社	10口
令和5年3月31日現在	正会員数	193名	
	賛助会員	7社	7口
令和6年3月31日現在	正会員数	192名	
	賛助会員	6社	8口
令和7年3月31日現在	正会員数	209名	
	賛助会員	6社	8口

令和6年度 特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人NPO 萩まちじゅう博物館
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	39,816,650		
売掛金	656,630		
商品	1,451,749		
食材料	74,364		
未収入金	78,986		
仮払金	350		
前払費用	128,350		
流動資産合計		42,207,079	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	208,726		
有形固定資産計	208,726		
(2) 投資その他の資産			
出資金	20,000		
投資その他の資産計	20,000		
固定資産合計		228,726	
資産合計			42,435,805
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	1,519,023		
未払費用	4,313,011		
前受金	124,000		
仮受金	813,554		
未払法人税等	767,600		
未払消費税	1,566,800		
流動負債合計		9,103,988	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			9,103,988
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		30,237,205	
当期正味財産増減額		3,094,612	
正味財産合計			33,331,817
負債及び正味財産合計			42,435,805

令和6年度 特定非営利活動に関わる事業会計財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人NPO萩まちじゅう博物館
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	2,850,175		
当座預金	9,421		
普通預金	35,936,749		
郵便振替	1,020,305		
売掛金	656,630		
商品	1,451,749		
食材料	74,364		
未収入金	78,986		
仮払金	350		
前払費用	128,350		
流動資産合計		42,207,079	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	208,726		
有形固定資産計	208,726		
(2) 投資その他の資産			
出資金	20,000		
投資その他の資産計	20,000		
固定資産合計		228,726	
資産合計			42,435,805
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	1,519,023		
未払費用	4,313,011		
前受金	124,000		
仮受金	813,554		
未払法人税等	767,600		
未払消費税	1,566,800		
流動負債合計		9,103,988	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			9,103,988
正味財産			33,331,817

令和6年度 活動計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	447,000		
賛助会員受取会費	40,000	487,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	20,400	20,400	
3 事業収益			
博物館管理等運営事業収益	41,542,345		
レストラン、ショップ、松陰記念館事業収益	24,233,945		
セミナーハウス事業収益	5,865,397		
指定管理者事業収益	16,831,000	88,472,687	
4 その他収益			
受取利息	22,451		
受取配当金	200		
雑収益	850,225		
雑損失	△ 3,300	869,576	
経常収益計			89,849,663
II 経常費用			
1 事業費			
期首棚卸高	1,267,744		
仕入高	11,291,402		
期末棚卸高	△ 1,526,113		
事業費計		11,033,033	
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	1,560,000		
給料手当	21,163,733		
労務費	26,548,040		
法定福利費	3,243,184		
福利厚生費	802,844		
人件費計	53,317,801		
(2) その他経費			
広告宣伝費	80,096		
外注費	500,295		
施設管理費	481,800		
燃料費	99,950		
清掃衛生費	507,484		
水道光熱費	2,646,702		
自動車費	427,563		
事務消耗品費	1,120,550		
消耗品費	2,204,105		
リース料	1,646,528		
支払保険料	188,789		
修繕費	137,500		
租税公課	5,939,073		
減価償却費	216,405		
接待交際費	1,767		
旅費交通費	74,000		
通信費	1,065,941		
支払手数料	685,300		
会議費	4,776		
諸会費	15,000		
図書費	78,275		
活動費	1,383,149		
地代家賃	648,590		
研修費	17,100		
事業費	425,737		
雑費	1,040,142		
法人税等	767,600		
その他経費計	22,404,217		
管理費計		75,722,018	
経常費用計			86,755,051
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 固定資産除却損			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			3,094,612
前期繰越正味財産額			30,237,205
次期繰越正味財産額			33,331,817